

科目名	ヘルスポリシー概論	code number : HPM-POL 251	選択	1 単位
-----	-----------	------------------------------	----	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	水曜 3・4時限	授業方法	講義

## 1. 授業の概要

まず、ヘルス・ポリシーの基本的な理論やモデル、根拠に基づく政策立案の手法を説明する。後に、実際の行政に関わっている非常勤講師より、わが国の厚生行政の仕組み等について講義を行う。さらに、個別な政策として、NCD対策(健康づくり、健康増進計画等)、がん対策、医師等の人材育成・確保対策、母子保健、精神保健、障害者保健、学校保健、地域医療構想、地域包括ケアシステム等について概要を説明する。まとめとして、各受講生が関心のある領域あるいはこれまでに経験した領域についての現状と課題、今後のあり方の提言をまとめてもらう。

## 2. 授業の到達目標

## 【一般目標(GIO)】

ヘルスポリシーの基本的な考え方と理論、現在行われている健康政策を理解し、その課題を抽出し、課題解決のために必要な政策を提言できるための知識と技術を習得する。

## 【行動目標(SBO)】

- 1.ヘルス・ポリシーの理論・モデル、根拠に基づく政策立案の基本的な考え方を理解し、説明できる。
- 2.わが国の保健医療福祉制度、公衆衛生行政システム、主な公衆衛生法規を理解し、説明できる。
- 3.NCD対策、地域医療等、国や地方自治体の主な公衆衛生施策の背景、現状、課題を説明できる。
- 4.人口・保健・医療等に関する主な統計調査およびその政策への活用について説明できる。
- 5.公衆衛生施策の立案、実施、または評価を行うことができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

(1) 授業への積極的な参加(50%)

(2) 発表およびレポート提出評価(50%)

注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

## 4. 教科書・テキスト

・厚生労働統計協会、国民衛生の動向(毎年8月ごろに最新号が出版される)

## 5. 参考書

・Buse K, Mays N, Walt G. Making Health Policy. Open Univerisy Press, 2012.

・週刊保健衛生ニュース(研究科として購入し、院生室に蔵書している。最新の厚生行政の動向のチェックを)

## 6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・学生間での討論を重視するので、講義中に指示された資料・参考書・文献を事前に熟読しておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

## 7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

## &lt;授業計画&gt;

## ヘルスポリシー概論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/24(水)	3	福田 吉治 教授	ヘルス・ポリシーの理論1:政策分析トライアングル、アジェンダ設定、プランニングモデル、
2	6/24(水)	4	福田 吉治 教授	ヘルス・ポリシーの理論2:ステークホルダー分析、研究者の役割、評価
3	7/15(水)	3	渋谷 克彦 講師	公衆衛生行政の実際
4	7/15(水)	4	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策1:NCD対策、がん対策、たばこ対策
5	7/29(水)	3	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策2:母子保健、精神保健、人材育成・確保、等
6	7/29(水)	4	近藤 久禎 講師(非)	公衆衛生危機管理:DMATの事例から
7	8/7(金)	3	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策3:障害者保健、自殺対策、データヘルス計画、等
8	8/7(金)	4	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	日本の公衆衛生施策4:医療、社会保障、地域医療構想、地域包括ケアシステム、等